



昨年11月に発行したまちなかサロンの団体活動紹介冊子「元氣さがしBOOK」がまちスポとやまのホームページから全ページ見られるようになりました。発行以来、新規使用会員登録希望者からのお問い合わせが急増、皆さんの活動してみたいという気持ちに後押しすることができたようです。まちスポとやまではこれからも「活動場所を探している」「何か始めてみたい」といった一歩ふみだしていききたい皆さんの応援を続けていききたいと思っております。

元氣さがしBOOK web版はこちらから

<https://www.legato-sogawa.org/genkisagashi.html>



## 卒業スタッフ

高山スタッフ 加藤 莉穂 かとう りほ

2016年1月にサポーターとして「まちスポマタニティカフェ」を開催してから7年。この度、まちスポスタッフを卒業することとなりました。まちスポと出会う前は、一人で心細く子育て支援の活動をしていましたが、まちスポと出会ったことで、ともに活動をする仲間ができ、活動が一気に加速しました。あのときの驚きは今でも覚えています。そんな経験から「私も人とをつなぐ仕事をしたい!」、スタッフとなり活動をさせていただいた日々は私にとってかけがえのない財産となっています。この7年間でたくさんの地域課題を知り、その課題を解決しようと活動される様々な人と出会うことができました。このまちは様々な人の「優しい想い」で成り立っていると感じています。今後、スタッフではなくなりますが、同じまちに暮らす仲間としてまちづくりに関わっていきたいと思います。まちスポで出会ったすべての皆様に感謝の気持ちを込めて、7年間大変お世話になりました。



## 窓



つばやき  
コーナー  
ブライTON&ホープ アルピオン  
中川



今年の富山は雪のない  
年越しで暖かいです。  
カスターロ



こたつで  
冷たいアイスクリームを  
食べたいな。  
野中

## 1月のホームページ更新

<http://machispo.org>



- 2023年1月まちスポ飛騨高山 イベント情報 <http://machispo.org/202301event/>
- 第15回スキマ研究会「福祉と出会う」 <http://machispo.org/sukima15/>
- 第14回スキマ研究会「地域ねこの暮らし方」 <http://machispo.org/sikima14/>
- 会報107号 <http://machispo.org/kaihou-107/>
- 飛騨地域のことが気になる皆様へ <http://machispo.org/sukimahakusho2022/>
- 白書発行記念イベント開催決定! 参加者募集中! <http://machispo.org/hakusyoanniversary/>
- 2023年2月まちスポ飛騨高山 イベント情報 <http://machispo.org/202302event/>

さるぼぼコイン クレジットでの 賛助会員入会が 可能になりました!

詳しくはこちらをご覧ください! <http://machispo.org/donation>

活動を応援して下さる方を募集しています。

- 個人年会費 1口 ¥3,000
- 法人年会費 1口 ¥5,000

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット  
 飛騨信用組合 松奏寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット  
 高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット



## ここでつながり、 ここから始まる 新しい一歩

昨年の12月にひだスキマ(課題)白書ができました。これを作るためにご協力をいただいた皆様に感謝します。沢山の長いアンケートにお答えいただいたNPOや事業所そして個人の方に改めて御礼を申し上げます。ここでは細かい分析をいたしません、アンケート結果は人口減少からくるあらゆることに不安を感じているようでした。

しかし、もう少し大きく見てみると世界の人口は増えています。思い起こせば30数年前、確かNGOの勉強会で日本の国土面積と食料について、日本国土で自給自足できるためには、「人口は8000万人くらい」という言葉を聞いたことがありました。それ以来、人口が増えることを100%良いことだと思わなくなりました。



代表理事 竹内ゆみ子

現実には、居る人がいなくなることで困ることは沢山あります。でも、この時から面積に対して、ちょうど良いというバランスはどうあるべきかを考えるようになりました。

取り敢えずこれまでと同じ発想では、生きづらくなるのは確かでしょう。その生きづらさを少しでも解消するお手伝いができる「場」として、まちスポが果たす役割がこれからも求められていると思います。



## 飛騨地域初(岐阜圏域でも初)の取り組みである「コミュニティ財団」に向けて… 「飛騨コミュニティ財団設立準備会」発足!

2022年12月25日に「ひだスキマ白書2022」が完成しました。この発行に際して、集まった応援の声や勉強会を通じた調査結果から、地域課題解決への理解促進、課題に取り組むチャレンジャーへの資金支援や運営の伴走の必要性を多く感じました。

これらの声や課題に応えるため、12月28日地域住民を中心にまちスポが事務局を担い、任意団体「飛騨コミュニティ財団設立準備会」(以下、準備会)が立ち上がりました。

まちスポが中間支援団体として様々な地域団体の活動の強化、継続の伴走をすることに連携し、準備会は飛騨地域の団体や社会的な事業のチャレンジャーのため必要資金の調達や拠出が出来る機能を持つ「コミュニティ財団づくり」を目指します。

現在、準備会ではクラウドファンディングを活用し一般財団法人設立に必要な設立拠出金300万円を目標として集めるチャレンジが始まりました。

志(こころざし)あるお金を集め、飛騨地域のために資金を使う活動になりますので、一定の目的のもとに使う資金の管理運営が可能になる一般財団法人での設立を目指す活動です。

活動を詳しく知っていただき、是非皆様にも「設立発起人」として賛同くださいますと幸いです。引き続き何卒、応援よろしくお願い致します。

### なぜ今クラウドファンディングに挑戦するのか。

飛騨地域の課題解決に挑むチャレンジャーと  
応援する人をつなぐ仕組みをつくる!

(3月31日まで)  
<https://congrant.com/project/hidacomyu/5998>

飛騨コミュニティ財団設立準備会  
website



飛び出せ★元気市民  
高山



ヒダスケ！  
-飛騨市の関係案内所-

ながいしともきさん

「おたがいさま」のところが  
地域課題を解決する糸口に

今回は、飛騨市で行われている地域で出た困りごとをSNSなどを通じて様々な方に手伝ってもらい、その方にいろいろな形でオカエシをするサービス「ヒダスケ!-飛騨市の関係案内所-」についてながいしともき(通称:ぼっきー)さん取材しました。

地域の小さな困りごとでも  
助け合いたい

現在飛騨市では人口減少が起きており、それによって生じる課題を解決するための一つとして「ヒダスケ!」が行われています。「ヒダスケ!」は、困りごとがある(ヌシ)とその困りごとを助ける(ヒダスケさん)からなる参加型のプログラムです。「ヒダスケ!」に参加することで飛騨市の魅力や人の温かさに触れることができ、飛騨に興味を持ってもらうきっかけづくりになるとのこと。ぼっきーさんは、ヒダスケ!中のヌシやヒダスケさんとお話をしながら関係づくりをしていくのが魅力だと話してくださいました。また、その後仲良くなり遊びに来る人も多くみられるそうです。

毎日全身赤い服を着ているのは

ぼっきーさんは、愛知県刈谷市のご出身。東京で働いていたけれど地方が好きで、飛騨市が課題解決について積極的に取り組みを行なっていることを知り、そういった地域で挑戦して貢献したいという気持ちから飛騨市に地域おこし協力隊として2020年7月に移住したそうです。地域おこし協力隊では、「ヒダスケ!」全般を運営しており、その際に地域の方々とお話することがとても楽しいと笑顔で話してくださいました。また、ぼっきーさんは、みんなに一目で覚えてもらえるように、毎日お仕事をされる際は全身赤い服装だそうです。(毎日着られるように7日分の赤い同じ服をもっているそうです)そのため、飛騨



市で歩いていると、ぼっきーさんとすぐに分かるため少し恥ずかしいと照れながらお話しされる姿に、ぼっきーさんの飛騨市をもっと多くの人に知ってほしいという気持ちが垣間見えた気がします。

今後の展望

飛騨には大学がないため高校卒業後は多くの方が地元を離れてしまいます。そういった飛騨を離れた人たちに対しても、もっと自分の地元の良いところ悪いところを知った上で、飛騨に戻ってきたり、外から関わってみたりなどの選択肢の幅を増やせるような活動をしていきたいとのこと。また、SNSに力を入れ「ヒダスケ!」をもっと多くの人に知ってもらい、気軽に使ってもらえるようにしたいと今後の展望を話してくださいました。

(まちスポサポーター：松井里彩)



ヒダスケ!  
-飛騨市の関係案内所-  
についてはこちら



ご連絡はこちらまで

▼まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスポ飛騨高山内)  
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580  
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

▼まちスポとやま

〒930-0083 富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)  
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359  
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

白書勉強会

ひだスキマ白書2022発行の記念として実施する「白書を読み解く会」の第一回を実施しました。ひだスキマ白書を読みながら、地域の課題とはなにか、自分たちにできることはなにか、意見交換をしました。オンラインで参加した人の中には、岐阜県外からの参加もあり、他地域の事例についてのお話も聞くことができました。引き続き、2月・3月も開催予定です

開催日:2023年1月31日(火)19:00~21:00

参加者:現地参加10名、オンライン8名

会場:まちスポ飛騨高山&オンライン



第13回  
スキマ研究会

第13回目のスキマ研究会は、「ジェンダーライブラリー」と題して参加者がジェンダーに関する書籍、映画、SNSなどの媒体を紹介しました。身近な問題であるはずなのにタブー視されがちな「ジェンダー」をカジュアルに話せる場を設けるために当イベントを企画しました。行政職員、学生、教員など様々な職種の方々からジェンダーのモヤモヤをシェアし、今後同じようなイベントをやりたいという声が上がりました。



開催日:2023年1月14日(土)19:00~21:00

参加者:現地参加13名、オンライン1名

会場:住職書房&オンライン



飛騨地域フードバンク活動基金  
40万円突破しました!

皆様の応援のおかげで、寄付総額40万円に到達しました。ご支援いただいた皆様、応援いただいた皆様、本当にありがとうございます。事業者の皆様からも寄付をいただき、2022年12月26日(月)に飛騨信用組合、2023年1月9日(月)に国際ソロプチミスト高山の贈呈式を開催させていただきました。まちスポでは今後も、フードバンク基金にて寄付を募集していきます。そしていよいよ、2023年2月を目処に、第一回の助成金審査会を開催し助成金交付ができるよう準備をすすめています。

今後は、助成金審査会の様子や交付が決まった団体の活動の様子などお知らせできればと思います。

皆様引き続き応援よろしくお願いたします!



飛騨地域で活動する人を支えます。  
フードバンク助成金  
申請募集開始

まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届けるフードバンク活動等への寄付金の窓口を開設します。「フードバンク」とは、食品のロス削減するとともに、食の支援を必要とする人々を支える方法のひとつです。さまざまな理由で市場に出せなくなった食品を、食の不安を抱える人や、その支援団体に無償で提供する活動です。飛騨地域で活動する団体を対象とします。

受付期間 2023年1月11日(水)~2023年2月10日(金)  
助成金額 助成総額35万円 ※1団体あたり最大 35万円まで審査会の決定により、1団体あたりの助成額が35万円に満たない場合があります。



詳細は  
まちスポHPにて

